

ユニバーサルデザインに配慮した3事業所を新たに認定

市ではユニバーサルデザインに配慮して整備された施設やサービスを提供する事業所を「誰にもやさしいまちづくり条例」に基づいて認定しています。

今回ハード部門（施設の整備）で新たに3事業所を認定し、認定件数はハード部門で31件、ソフト部門（サービスの提供）で8件の合計39件となりました。認定施設には、目印として認定マークが貼られています。



認定証交付式の様子（7月3日市役所）

問合せ先

企画課
☎35-3131

今回認定した「ハード部門」の施設（ ）内が認定部分



②(株)臥龍の郷「臥龍の郷」
(1階ラウンジ、売店)



①岐阜県厚生農業協同組合連合会「久美愛厚生病院」
(診療所、入院施設)



③(株)ウーノ「遊膳亭魚祭」
(食事スペース)

ユニバーサルデザインとは
障がいの有無、年齢、性別などに関わらず、さまざまな人々が利用しやすいように、あらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方で



事業認定者に交付される認定マーク

飛驒牛応援協力金を募集しています!

高山市飛驒牛応援実行委員会では、共進会三連覇への取組みを支援するため「飛驒牛応援協力金」を募集しています。

市民のみなさまのご協力をお願いします。

募集期間 ●7月31日(火)まで
(土日祝除く)

場所 ●本庁舎1階インフォメーション及び各支所窓口などに協力募金箱を設置（領収書が必要な方は職員へお申し出ください）

※集まった協力金は、出品農家への直接支援やPR等の間接支援に使用させていただきます。

同実行委員会は6月27日、出品候補牛を飼育している井田畜産（清見町三ツ谷・写真下）を訪問し、西倉実行委員長より、集まった協力金により準備した稲わら2360kgを贈呈しました。贈呈・激励を受けた井田睦社長は、「市民のみなさんの支援に感謝しています。感謝の気持ちを、栄冠を勝ち取ることでお返し



市飛驒牛応援実行委員会は、第10回全国和牛能力共進会の出品候補牛を飼育している畜産農家へ稲わらなどの飼料を支給する支援を始めました。

したいと思っています。最後まで応援よろしくお願ひします」と抱負を述べました。この飼料支援の取り組みは、市内で候補牛を飼育する19戸の畜産農家に行われ



応援します! 第10回全国和牛能力共進会